

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL http://www.airoren.gr.jp
発行人 樽松佐一
第185号 2008年12月10日

愛労連・春闘共闘新春大学習会

とき 1月10日(土)13:15開会
ところ 名古屋市公会堂4階ホール
愛労連2009年旗びらき
とき 1月10日(土)17:30開会
ところ 名古屋市公会堂第7集会室
愛労連第40回臨時大会
とき 1月25日(日)10:00開会
ところ 蒲郡市勤労福祉会館



決意を語る太田義郎さん

09年4月 名古屋市長選 憲法をいかし市民が 主人公になれる名古屋市政を 太田義郎さんと 革新市政の会が推薦決定

庶民の苦しみや気持ち わかる米屋の大将

名古屋・革新市政の会は12月2日に、臨時世話人総会を名古屋市熱田区の労働会館ホールで開き、47団体・120人以上が参加しました。総会では来年4月に行われる名古屋市長選挙の候補者として愛知県商工団体連合会(愛商連)会長の太田義郎さん(64)を推薦すると決定しました。

このあと、大きな拍手で会場に迎えられた太田さんは、医療や福祉などをスタスタにし、市民に犠牲を押しつけてきた民主・自民・

公明と党の市政を批判。「かつて『福祉日本』と言われた本山革新市政のように、子どもや高齢者、弱者に光を当てる市政を取り戻すため全力をあげる」と決意を表明しました。

職場・地域の隅々から 太田さん推薦を

参加者からは、「市民が主人公となる市政を実現する」と決意が相次ぎました。また、12月19日の午後6時30分から名古屋市公会堂大ホールで開催される「つくるまい、暮らし大切の市政12・19市民のつどい」の成功へも全力をあげることになっています。

愛労連では、名古屋市長選挙闘争方針について、年明けに開催される第40回臨時大会で確定することにし

住ませる 働かせる 雇用を守れ

愛労連が「派遣切り」反対、雇用問題で緊急行動

11月30日、豊田市内で開催した第25回トヨタシンポジウムでは、トヨタの期間労働者解雇に対する批判が集中。「トヨタは減益になったとはいえ、09年3月までに6000億円の利益を見込んでいる。雇用を維持する体力は十分ある」と指摘されました。トヨタは来年3月までに9000人近い期間労働者を3000人にすると発表、関連企業も大量の期間労働者の解雇をすすめています。下請企業では「今回の減産でまたもコストダウンが強

米国発金融危機が日本の实体经济に深刻な影響をもたらしています。日本経済を「リード」してきた自動車や電器など輸出企業は軒並み減産・減益になるなかで、トヨタをはじめ大企業は派遣や期間労働者の大量解雇・雇止めをすすめています。

トヨタシンポジウムには100人が参加。11月30日、豊田市内で開催した第25回トヨタシンポジウムでは、トヨタの期間労働者解雇に対する批判が集中。「トヨタは減益になったとはいえ、09年3月までに6000億円の利益を見込んでいる。雇用を維持する体力は十分ある」と指摘されました。トヨタは来年3月までに9000人近い期間労働者を3000人にすると発表、関連企業も大量の期間労働者の解雇をすすめています。下請企業では「今回の減産でまたもコストダウンが強



愛知労働局に要請する愛労連四役

トヨタ本社・関連企業行政機関に要請。愛労連はこうした事態に対し、「住ませる！働かせろ！」という要求で、労働局、中部経済産業局、愛知県をはじめ西三河各市、八ローワークへの緊急要請をおこないました。とくに、労働局には解雇になった場

合の住宅を確保すること、雇用保険特別会計を活用した対策の強化を求めました。愛知県・各市には、解雇された労働者の生活保障の施策を要請しました。愛労連は雇用問題を09春闘の最大の課題に位置づけ、派遣切りをすすめる企業の身勝手を許さないたたかいを強化していきます。12月7日には春闘討論集でも雇用問題で集中的な議論をおこない、民間部会とも協力し、雇用対策本部を設置してとりくみを強めていくことにしています。

「派遣社員の父親がリストラされた。授業料減免は受けても、教材費や定期券代など払えない」定時制高校で出す夕食がその日の初めての食事になる生徒もいる。私立大学の受験料は平均3万5千円。5、6回の受験はざらで、交通費や宿泊費もかかる。進学をあきらめざるをえない。11月末におこなった「教育格差・告発ホットライン」に寄せられた声である。ホットラインでは、県立高校のクーラーについての声が多く寄せられた。県教委が父母負担で補習に使うならばとクーラーの設置を認めた。いわゆる進学校に次々と設置されたため、大きな学校間格差を生んでいる。そもそも何で親がお金を出して学校にクーラーをつけなくてはならないのか。許せない話だ。世界の流れは「教育費の無償化」だ。国際人権A規約第13条(b)(c)項では、中・高等教育の漸進的な無償化をめざしている。規約を批准している158ヶ国中、日本、ルワンダ、マダガスカル、3ヶ国だけがこの項を留保している。また、OECD加盟30ヶ国の中で、高校の授業料が無償でないのは日本、韓国、イタリア、ポルトガルの4ヶ国だけ。「教育費の無償化」は当たり前のこと。政治を変えて、「安心して子どもを産み、育てることのできる社会」にしていこう。(和)



ユーモアたっぷりの中田さんの講演

愛知国公では国の職場で働く非常勤やパート職員の交流会をおこなっています。6月の交流会には31人が参加。代表幹事の尾崎さんにお話をいただきました。非正規を組織するため「受け皿として」「国一般愛知」が立ち上がったことも報告されました。

建交労保育パート

非正規労働者のたたかいが社会を変える パート・臨時の元気が出る集いに73人

11月24日、労働会館本館で第13回パート・臨時の元気の出る集いがおこなわれ73人が集まりました。

記念講演には関西勤労者教育協会講師の中田進さんを迎え、「非正規労働者のたたかいは職場と社会を変える力」をテーマに学習。

中田さんは「悪いのは財界・トヨタ。非正規を組織化してたたかおう」といった中身を冗談を交えながら語り、会場は終始笑いが絶えませんでした。

記念講演の後、3団体から活動の報告がされました。

自分にも作れそうな気がします 自信がつけました

第13回あいち機関誌・宣伝学校

今年で第13回目となるあいち機関紙宣伝学校は、「読まれる待たれる新聞・チラシづくり」をテーマに11月29日から30日にかけて名古屋熱田区の労働会館で行われ、86人が参加しました。(29日は49人、30日は64人)

初日には、超左翼マガジン・ロスジェネ編集長で作家の浅尾大輔氏を招き記念講演。浅尾氏はこれまで接してきた非正規労働者の実態と同時に、その青年たち



参加者どうして教えあって学習

が権利を学びたかたことと大きく変わってきたことを紹介。あらためて労働組合が生活と雇用を守るたたかいに大きく立ち上がることを呼びかけると同時に、教育宣伝活動の重要性を強調しました。

活動報告では、自治労連などや介護労組、地域労組など、愛高教一宮養護分会がそれぞれの機関紙活動を報告。苦勞しながらも工夫をしながら読まれる待たれる新聞づくりに励んでいることを報告しました。

2日目の実践講座では、初心者向けの新聞づくりやデジタルカメラ、パソコンを使った新聞づくりなどの講座に分かれ1日かけて技術を磨きました。

参加者からは、「作る人の苦勞がわかった気がします。だけど自信をつけることができました」「すごく丁寧な指導でわかりやすかったです」などの感想が寄せられています。

あなたの職場でも年末年始安全衛生総点検を

「年末年始無災害運動」が、12月15日～翌年1月15日まで、中央労働災害防止協会が主催し、厚生労働省の後援でとりくまれます。

標語は、「目配り気配り安全確認 無事故でつなぐ年末年始」で、金山駅には大きな垂れ幕が出されます。

では、労働組合は何を行うのか。安全衛生総点検運動、パトロールはどうしよう。愛知労働局も「職場全体の安全衛生総点検の実施」を事業主に迫っています。

労働局は「家族待つ年末年始 無災害」をスローガンに、12月1日から来年1月20日まで、年末年始安全衛生総点検運動を呼びかけ、「職場の安全衛生点検表(業種別)」をHPに掲載しています。製造業用、建設業用、陸上貨物運送事業用、商業用などがありますので、職場にあわせて改善してはどうでしょうか。

なくせ貧困、生活危機突破 09春闘で政治の転換を

師走に入り何かと忙しくなってきましたが、いよいよ09春闘が始まります。愛労連と愛知春闘共同は12月7日に春闘討論集会を行いました。アメリカ力発の金融不安が日本の実体経済にも波及し、愛知では非正規労働者の雇用が深刻な事態になっています。09春闘でなにを勝ちとるのか、職場で話し合ってみましょう。

深刻な事態に
無策な麻生政権
09春闘の目標は「なくせ貧困、生活危機突破、政治の転換」を実現することです。

いま、自動車や電器など輸出を中心とした製造業で期間工や派遣労働者の大量「首切り」が横行されています。減益とはいえ6000億円の利益を見込むトヨタが来年3月にかけて6千人、グループや下請けを含めれば万の単位の労働者が職を奪われ、住居を追われています。西三河地方では、生活保護の相談が急増しています。「雇用の確保と安定」は緊急・最大の課題となっています。

9件と6年ぶりの高水準です。地域経済も深刻な打撃を受けています。地域のコンビニや商店街も大幅に売り上げが落ちたところも出ています。自治体の税収減も必至の状況です。

一方、自公政権の無策ぶりは目に余ります。2兆円ものばらまき「給付金」では、根本的対策と

全組合員参加の学習会を
09春闘は、まさに正念場の春闘です。黙ってはいけません。政治の転換は国民の願いです。

家族・知人等で困っている方にご紹介ください。
パート・臨時・派遣、どなたでも相談できます

無料! 労働相談110番

祝祭日を除く月～金 9:30～16:30
E-mail 110@airoren.gr.jp
または検索サイトで「愛労連」

愛労連労働相談センター
Tel.052(881)1411

早期解決に向けて 栄総行動で要請実施

愛知争議団連絡会 事務局次長 植木 日出男

11月19日、「みんなの要求みんなで実現」をスローガンに、第70回栄総行動が開催され、250人が参加しました。朝のピラ宣伝を皮切りに午前14カ所の要請行動、昼休み集会後、12カ所の要請行動を実施しました。

愛知争議団は、争議の早期解決に向けて企業・銀行に対して要請行動を展開しました。

【明治乳業争議団】
今回はメインバンクである、みずほ銀行名古屋支店、名古屋中央支店、名古屋駅前支店の3カ所の要請を実施しました。

争議団員の説明を受け、みずほ銀行の対応者は、「要請内容は、本社は、要請内容は、本社は、

報告する「個人的な意見だが、長期の争議であり早期の解決が望ましい」と思う」と、明治乳業の対応の悪さを疑問視する発言もありました。

争議団は歴史のある栄総行動に結集して、多くの争議を解決してきました。その教訓に学んで、地域労連が軸になった地域総行動にもとりくみ、争議解決に大きな役割を果たしてきています。国鉄1047名の解雇撤回のたたかい、明治乳業支援の行動など、原告を励まし全国のたたかいの翼を担って活動しています。

今後、早期解決のため運動を強めていきますので協力をお願いします。【ソフトバンク争議団】名古屋駅にあるソフトバンク名古屋支社への要請

「年々無災害運動」が、12月15日～翌年1月15日まで、中央労働災害防止協会が主催し、厚生労働省の後援でとりくまれます。

標語は、「目配り気配り安全確認 無事故でつなぐ年末年始」で、金山駅には大きな垂れ幕が出されます。

では、労働組合は何を行うのか。安全衛生総点検運動、パトロールはどうしよう。愛知労働局も「職場全体の安全衛生総点検の実施」を事業主に迫っています。

労働局は「家族待つ年末年始 無災害」をスローガンに、12月1日から来年1月20日まで、年末年始安全衛生総点検運動を呼びかけ、「職場の安全衛生点検表(業種別)」をHPに掲載しています。製造業用、建設業用、陸上貨物運送事業用、商業用などがありますので、職場にあわせて改善してはどうでしょうか。



たたかう仲間たち NO.48

雇用安定と賃上げこそが 内需拡大・金融危機突破の力

景気後退局面でも年末一時金闘争で建交労や全港湾が奮闘

Topics



11/22

豊橋市民文化会館にて「鳥居先生の公務災害認定を求める学習会」が行われ100人が参加。12/2には各地裁に提訴



12/3

愛高教は県下一律の地域手当改悪許すなど11/2の全県一斉宣伝以降、12/17まで毎水曜日に県庁前で宣伝



12/7

第25回高蔵寺弾薬庫1周マラソンには410人が参加。クラスター爆弾廃止などの世論も広がり過去最高の規模に



12/10

C130H輸送機が故障で緊急着陸し滑走路の一時閉鎖。今年4回目の重大事故に安保破棄実行委員会などが抗議



11.19秋の地域総行動では、県下約160カ所での早朝宣伝、行政に雇用問題での緊急要請、決起集会や学習交流会にとりくんだ(写真は守山労連のデモ行進)

建交労と全港湾が前年並み確保

今月になってやっとガソリン・軽油の価格が下がってきたとはいえこの間の原油高の影響で厳しい状況が続くトラック業界。「運送業界ではものすごく倒産が増えている」というなかですが、建交労では要求をあくまで守り、一時金闘争をたたかっています。11月末までに55組織中30組織で回答を引き出しましたが、昨年比 68.4%ですがほぼ前年並みの結果となっています。

春闘では前年を上回った

名古屋港関係ですが、秋になってから自動車関連の輸出が減少し、特に海上コンテナは10月以後大きく落ち込んでいます。それでも年間を通じての経営状況はまあ維持しており、昨年をやりや上回るつもりでいます。港ではトヨタ系の新しいパス(TCB)の二次稼働に伴い、協定締結のたかひを強めてきました。その結果、港運協会の協定で名港協とTCBとの実質的な協定を締結。労働組合との事前協議など港のルールを守ることが確認できました。

正規の賃下げ 非正規に影響させるな

先月民間3単産と愛労連は名古屋市のマイナスイノベーション「非正規にまで影響させるな」と市長に申し入れました。その後市労連・市職労などが当局との交渉を重ねてきました。その結果、保育パートの時給については当初の「マイナスリンク」回答を変化させてきました。今後、建交労保育パート支部との交渉にゆだねられます。

政府・与党は「介護労働者の待遇を改善するため、来年4月に介護報酬を3%引き上げる方針を決めました。これは「介護崩壊」の実態を訴え安心できる介護制度を求めてきた世論と運動の成果です。介護労働者の平均で2万円の賃上げをめざすとされています。

一方、赤字施設が多くをしめるなか、この報酬引き上げが本場に待ったの改善に結びつくか心配もありません。福保労は厚労省交渉で介護報酬引き上げが確実に労働者の待遇改善に結びつくものとなるよう要請しています。



会場いっぱいの参加となった全体会

09国民春闘のたたかいは、個人消費はGDPの6割をしめており、景気回復のためには賃上げと働くルールの確立が必要。外需依存型経済から内需主導型経済への体質改善をめざしたとりくみを重視する。「いままでの延長ではない、日本を変える09春闘にしよう」と呼びかけまし

外需依存・大企業中心からの脱却を 09国民春闘討論集会に110人

愛労連と愛知国民春闘共闘委員会は12月7日、名古屋市中熱田区の労働会館で2009国民春闘討論集会を開き、各組合から110人が参加しました。

基調講演は全労連および国民春闘共闘委員会の井上久事務局長。09国民春闘をめぐる情勢について「歴史的転機の中での09国民春闘」と題して報告。

井上氏は、アメリカ発の金融危機と世界同時不況について、背景には新自由主義の「市場万能論」と規制緩和路線の推進など行き過ぎたカジノ資本主義の破綻がある。1990年当時、世界の実体経済は3100兆円、金融資産は5500兆円だったのに対し、2007年には実体経済が6400兆円なのに金融資産は2京2000兆円に膨れ上がっていることを紹介し、こうした政策が深刻な不況と格差をつくり出したと述べてきました。

09国民春闘のたたかいは、個人消費はGDPの6割をしめており、景気回復のためには賃上げと働くルールの確立が必要。外需依存型経済から内需主導型経済への体質改善をめざしたとりくみを重視する。「いままでの延長ではない、日本を変える09春闘にしよう」と呼びかけまし

**みんなのとりくみ
お寄せください**

単産・単組や地域でのとりくみを写真(デジタルでも可)と簡単な文章でお寄せください。しめきりは毎月4日までに愛労連事務局必着。詳しくは...

052-871-5433(竹内)まで
E-mail post@airoren.gr.jp

青年協ニュース AIAI 集まりやすい場所をつくろう

青年協第19回定期総会 & 講演会に65名参加



1年間元気いっぱいがんばります

12月6日、愛労連青年協第19回定期総会を行い、記念講演には青年以外にも参加し、全体で65名、総会には44名が集まりました。

記念講演では、首都圏青年ユニオン書記長の河添誠さんより「若者に広がる貧困と労働組合の可能性」と題し、青年の置かれている現状と青年ユニオンの活動についてお話いただきました。

総会の討論では、参加者より「長野へ平和ツアーに行こう」といった単産の活動報告や「会議では軽食を出して、みんなが集まりやすい雰囲気をつくって欲しい」といった会議、交流の在り方についての提言などがありました。

【新役員】
議長 松本彩子(医療連) / 副議長 なし / 事務局長 仲野陽子(福保労) / 幹事 大威和明(医療連) / 成田智美(福保労) / 内田武司(愛高教) / 自治労連より2名

またサマーセミナーのDVD上映では、楽しそうな雰囲気を見て「来年はサマーセミナーに参加したい」との発言もあり、会場から歓声があがりました。

議案は満場一致で可決、新役員も全員信任を受けました。新旧役員が交代し、最後は新議長の掛け声のもと、笑顔で団結がんばろうをおこない、09年度がスタートしました。

何か流行語にノミネートされるか 高木 徹

全医労が100ヶ月連続拡大達成 秋の組織拡大月間終盤 地道なとりくみで成果広がる

秋の組織拡大月間は終盤を迎えています。全医労名古屋医療センター支部では2000年8月以来、毎月コツコツと連続拡大を続け、ついに100ヶ月連続達成。当局の厳しい攻撃を受けながらも看護師寮の前で残業チェックを行い、医師・看護師増員署名で職場の信頼を勝ちとってきた。この粘り強さは愛知県医労連全体の組織拡大に大きな影響を与えています。



名古屋タイムスの廃刊で解雇者も出ている名古屋タイムス社前で、全印総連が「組合に入ってたかおう」と宣伝行動（12月2日）

年金者組合は「秋の仲間づくり月間」で11月末までに56支部のうち7割以上となる41支部で新しい仲間を迎えました。年金者組合はこの秋、後期高齢者医療制度廃止、名古屋国保料引き下げ、年金者一揆など署名に、集会や、デモに大奮闘。日泰寺や興正寺、各地域労連でとりくむ街頭署名でも、「行列ができる」とお年寄りの大きな支持を受け

ています。仲間の拡大はこの運動をさらに大きくする力になっていきます。11月7日、福保労働海地本事務所にやってきてくれたKさん。手に持っていたのは10月19日にケアマネ試験会場前で配布した「宣伝セット」でした。資料見てもおもしろそうだと思って「来たそうです。職場に組合がなく、他の職場の人から少しでも仕事の話を聞きたい」と話しています。

今後の主な日程

新春大企業向け宣伝
1月7日(水) 8:00~
名古屋駅・ミッドランドスクエア
愛労連・春闘共闘新春大学集会
1月10日(土) 13:15~
名古屋市公会堂4階ホール
愛労連2009年新春旗びらき
1月10日(土) 17:30~
名古屋市公会堂第7集会室
新春大企業向け宣伝
1月12日(成人の日) 7:30~
JR刈谷駅
愛労連第40回臨時大会
1月25日(日) 10:00~
蒲郡市勤労福祉会館

おやまほす

NO.56 通信労組

「激動の5年間でしたね」と振り返り、駒井清美さんは言います。通信労組に加入して5年。2年目には名古屋が



駒井 清美 さん
通信産業労働組合
愛知支部

ら京都に見せしめ配転されました。NTT西日本では初めて女性の単身赴任となったのです。それでも「名古屋はもちろんのこと、大阪や京都、関西の仲間のお世話になって5ヵ月半で戻ってこられました」と笑顔

機関誌を通じて 仲間づくりすすめたい

はぜんぜんしていません」と、その表情は晴々としています。

仲間から
元気をもらって

今年から機関紙の編集長が支部の委員長になったため駒井さんは機関紙

みんなの声

前任校の友人からうれしいメール。一度に3人の組合加盟があったと。学校の現状を何とかしたいとの思いのあらわれ。(愛高教・小林陽子)

作成も手伝います。「機関紙を配ると」第2組合、がんばってくれよ」と声がかかります。もっとたくさんの方が通信労組に入ってくれと働く条件がよくなるんですかね」と。

関西にいた頃、宣伝行動ではマイクを握り訴えました。初めは人前で話すのが嫌で苦手だった駒井さんですが、「参加した仲間から元気をもらえて、今でも本当に感謝しています」と話します。

派遣なんて考え方、元々おかしいと思います。各企業が責任を持って従業員を雇用すべきです。総選挙では各政党の考えをよく見極めて労働者の力を発揮しよう。(全運輸・山下富治)

投資の世界の肥大化は化け物のようにものすごい。億、兆の次の京という単位がしばしば報道されるようになった。庶民の日常生活はせいぜい万単位である。時給の最低をせめて千円に、年金の最低月額をせめて八万円にと要求している。実体経済の基本をもっと大切にすべきである。書カードをお送りします。

- (年金者組合・大家信義)
- 家の近くのガソリンスタンドはガソリンと軽油の値段が一緒になりました。外国ではあるようですが、日本では初めて見ました。トラック会社等は大変でしょう。(全運輸・吉村剛)
- 職場で最近砂漠化が進み、職員間の連帯が失われているようです。(愛高教・小宮太郎)
- 【クイズの答え】
前号184号(11月号)のクロス漢字ワードパズルの答えは、キンユウキ夫金融危機)でした。正解者の坂至正/事務局長、堀池良雄
- 通信労組
執行委員長 飯田栄/副執行委員長 大村美恵/書記長 今木洋治
瑞穂区労連
議長 井上成人/副議長 加藤伸久/事務局長 関久一
一宮地区労連
議長 鈴岡久枝/副議長 坂至正/事務局長 堀池良雄

花を愛で、語らう を肴に美酒に酔う

No.51 「あるきにすとの会」



2007年4月大川入山(横岳)にて(右端が筆者)文・写真 市場文規(あるきにすとの会代表)

「山歩」に愛読ありがとうございませう。次回が最終回ということですが、「あるきにすとの会」の紹介を少しさせて頂きます。愛労連女性協と全国一般あいち支部の仲間です。スタートしたハイキングの会、家族や友人へと広がり、会員は約30人。年数回のハイキングと1、2回の飲み会。飲み会になると出席率が跳ね上がる会。「花を愛で、語らいを肴に美酒に酔う」が会のモットーです。写真を見ると、皆さん存じのそうそうたるメンバーにお気づきかもしれません。「市場さんです、いい人ですね」とよく言われますが、「あるきにすとの会」は、特に美酒に酔っている(加齢)なる方はかりです。

労働相談の窓

労働者の使い捨て広がる異常な年末

派遣社員のYさん(男・40代)は、来年の3月31日まで契約期間があるのに年内一杯で解雇すると派遣会社から通告された。理由は派遣先のM自動車から解雇予定リストが届いた中にあなたの名前が載っていたと云われた。また、自動車部品会社に派遣されたTさん(男・40代)は、派遣先から単価を下げられたと皆手当廃止、時給

100円カット、更に減産で残業や直手当カットも心配、寮費5万8千円引かれると生活ができない。四国の父も僅かな年金で頼れないと訴える。自動車販売業の社長という方は、新車や部品の販売手数料の廃止、新車販売はディーラーに集約と聞かされている、そうになったらもうおしまいだと声を詰まらせる。貴金属店の本社から、封書

で閉店と解雇の通告が3つの店と自宅に届いたと相談に。燃油高や不況による消費の冷込みで...など、労働者の使い捨てが裾野を広げている。もう、あれこれ云わず早く有効な手を打てとの怒りが募る異常な年末。それでも泣き寝入りはいやとの思いに応え、もう少し勇気を出そうと励まし解決の道を語りあう担当者の熱意が続く。(阿部)

BOOKレビュー



「生きづらさ」の臨海 湯浅 誠 河添 誠 [編] 旬報社 定価1500円+税

青年結集のヒント

非正規労働者はその働き方をみずから選んだのか、ネットカフェ難民は自己責任なのか。答はノーだ。無権利の状態が働かされているのに、なぜ労働組合に結集しないのかと考へがちになるが、「自己責任論」が浸透するなかで職場にも家庭にも居場所がなく生きづらさを感じている青年が多い。NPOもやいの湯浅氏と首都圏青年ユニオンの河添氏を中心に字者との鼎談は私たちに、青年を結集していくうえで多くのヒントを与えてくれる。